作成日：2025 年 10 月 3 日

プラチナ抵抗性再発卵巣癌患者に対する時間毒性（Time Toxicity）の後方視的研究のご協力のお願い

私たちは卵巣癌に対するよりよい診断・治療を目指して下記の研究を実施しています。本研究では当院産婦人科で卵巣癌の治療を施行された方の臨床情報や治療内容、治療期間を振り返り研究することで、よりよい医療の提供を行うこと、医学の発展に寄与することを目的としています。本研究は京都医療センター倫理委員会の審査・承認を受け、病院長の許可を得ています。

1. 研究課題名

プラチナ抵抗性再発卵巣癌患者に対する時間毒性（Time Toxicity）の検討

2. 研究の概要

［対象］

2020 年 4 月から 2025 年 1 月に当院でプラチナ抵抗性再発卵巣癌に対して治療を行い、原病死した方を対象としています。

［方法］

対象者の年齢、病名、進行期、治療内容、治療期間などを後方視的に検討いたします。

［研究機関］

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 1 月 31 日まで。

3. 研究組織

この研究は当院のみで行われます。

［研究実施責任者］

独立行政方針　国立病院機構　京都医療センター　産婦人科　濱西　潤三

［研究担当・分担者］

伊田　昂平、天野　泰彰、寒河江　悠介、山田　雅恵、松本　沙英、北野　照、住永　優里、元木　貴裕、河合　香奈

4. 試料・個人情報の管理について

本研究で使用されるカルテ情報には患者さんの個人情報が含まれます。研究ではこれらから氏名、住所などの個人を特定できる情報はすべて削除し、研究用の番号をつけて管理しま

す（匿名化）。また、この情報が必要な場合（研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合時など）に研究用の番号と結びつけられるように対応表を作成し、この対応表は研究責任者が厳重に管理をします。

5. 研究結果の公表と公的データベースへの登録について

研究の結果は学会発表や学術雑誌を通じて公に発表されることがあります。その際にも個人情報は保護されます。

6. 同意の取り消しについて

本研究への参加は対象者への自由意思によるものです。ご自身の情報を使用してほしくない場合には、これを拒否することが可能です。その場合も不利益を受けることはありません。研究同意の取り消しを希望された場合、該当する情報について調査し、当院での使用を停止します。

7. 研究資金・利益相反について

本研究は公的資金からの研究費を得ていません。本研究実施にあたり、利益相反はありません。

8. 本研究について詳しい情報が欲しい場合

この研究について何かわからないことやご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

・本研究課題についての相談窓口

国立病院機構　京都医療センター　産婦人科　濱西　潤三

電話：075-641-9161